

「平成 16 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」 の作成に向けて

平成 15 年 2 月 26 日
総合科学技術会議有識者議員

1. 基本方針

- 平成 16 年度は、第 2 期科学技術基本計画の 4 年目であり、世界最高水準の科学技術創造立国を目指し、引き続き、基本計画に掲げる諸施策を着実に推進する。
- 「平成 16 年度の科学技術に関する予算、人材等の資源配分の方針」の作成に当たっては、我が国全体の科学技術に関する資源の最適な配分を実施する観点から、前年度の資源配分の方針からの継続性を考慮しつつ、最新の研究・技術動向や経済事情を反映する。

2. 平成 16 年度の主要な問題意識

平成 16 年度の資源配分方針の検討に当たっては、我が国の現下の厳しい経済情勢の打破、国民が望む安心・安全な社会の実現等我が国が直面する諸課題を解決し、今後の展望を拓く科学技術を一層進展させることを念頭に置く必要がある。こうした認識のもと、現時点において配意すべき主な点は以下のとおりと考える。

(1) 国の発展基盤の強化

将来の知識の源、国の発展の礎となる基礎研究を推進する。

< 主要な問題意識 >

- ・競争的研究資金の拡充と抜本的制度改革
- ・国立大学の独立行政法人化の機を捉えた大学改革
- ・理科離れ対応などの教育改革等による人材の養成・確保 等

(2) 国際競争力の確保・強化

我が国の経済の活性化に向けた科学技術を推進する。

< 主要な問題意識 >

- ・ 経済活性化のための研究開発プロジェクトの積極的な展開
- ・ 各分野の「産業発掘戦略」(バイオテクノロジー、IT、ナノテクノロジー、環境等) 等の政府の方針の着実な実行
- ・ 大学や企業等の知の最大活用
 - 産学官連携の強力な推進等を通じたベンチャー・新産業の創出
 - 技術革新 (イノベーション) を産み出す基礎研究の重視
 - 知的財産戦略
- ・ 知的特区の導入に向けた取組の推進 等

(3) 安心・安全で豊かな社会の構築

国民の健康や生活の質を向上させ、安心・安全な社会を構築する科学技術を推進する。

< 主要な問題意識 >

- ・ テイラーメイド医療や再生医療、高齢者医療、食の安全など国民の健康向上に直結する研究開発の推進
- ・ これからの高度情報通信社会の基礎となる情報セキュリティなどソフトウェア技術開発の推進
- ・ 環境と経済の調和に向けた環境産業の育成とエネルギー研究開発の推進
- ・ 危機管理技術や社会のリスクを軽減する研究開発の推進 等

3 . スケジュール

資源配分の方針は、随時本会議で議論しつつ、6月を目途に決定する予定。